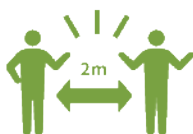


ステイホームからステイウチコへ

緊急事態宣言は解除され、対策の強度は少し緩められました。県内外の往来も増えてくると思いますが、再び感染が広がる可能性は十分にあります。しばらくは内子町内にいようと思っている人は多いのではないのでしょうか。「新しい生活様式」は長丁場に備え、日々の暮らしに感染症対策を取り入れることを提言しています。今回の特集では、内子町のよさを知ること、楽しく滞在し、ここだからできる暮らし方を一緒に考えたいと思います。

人との間隔は
できるだけ
2m空けよう

ソーシャル
ディスタンス
を心掛けて



会話するときは
マスクを
着けよう

咳エチケット
にも気を付けて



手洗いは
30秒かけて
せっけんで丁寧に

こまめな
手洗いうがいを



定期的に
換気をしよう

密集、密接、
密閉の「3密」
を避けよう



新しい生活様式

みんなでコロナを予防しよう



毎朝の
健康チェックを

発熱や風邪の症
状がある場合は
自宅で療養



買い物は1人で
すいた時間に

先に計画を
立てて手短に



感染が流行して
いる地域への移
動は控えよう

最新の情報収集を
心掛けて



大皿は避けて
料理は個々に

対面ではなく
なるべく横並
びで座ろう



ステイホームで見つけた

内子だから「できること」

今まで誰も経験したことがない緊急事態宣言。ステイホーム。家で過ごした時間は、誰かを思う時間でもありました。誰かのために「できること」をしよう、内子だから「できること」をしよう。心が動いた分、人と人のつながりは広がっています。

「このまま何もしないのは駄目だ」。先月号で紹介した内子テイクアウト部もそうですが、全国に緊急事態宣言が出され、できないことが増える中、多くの人が「何かしなければ」と考えたと思います。

亀岡理恵さんのように「できないこと」より「できること」を探すことで、今まで気付かなかった価値を発見した人もいます。他にも「外に出れない分、町のことを考えた」「地元の人たちとのつながりの良さを再認識した」という人もいました。

ステイホームはつらく長い時間でしたが、新しい価値観を持つ人が増え、互いに応援し合うことで新しいつながりを生み出さかけにもなっています。

政府から「新しい生活様式」が提案され、会話時のマスク着用や毎朝の健康チェックなど、新型コロナウイルスと向き合いながら生活する日常が始まりました。第2波の懸念もあり、長丁場に備える心構えも必要です。戸惑う内容もありますが、内子なら「できること」がたくさんあるはず——。互いのつながりを大切にしながら、内子らしい暮らし方を探していきましょう。

ステイホームで分かった内子の豊かさ



「寿喜多」料理人
亀岡 理恵さん=石畳8=

緊急事態宣言が出てから、「里山の恵みおすそわけBOX」の販売を始めました。全国で外出自粛が呼び掛けられ、生活は一変。私もイベントなどで料理を提供する機会がなくなり、何ができるか考える日々が続きました。ちょうど山菜がたくさんある時期だったので、試しにSNSで「送れますよ」と投稿したら反応があり、「夫婦で、できる範囲でやってみよう」となりました。家にいる時間が長くなるので、料理に向き合うことを提案。タケノコやワラビ、タラの芽、フキなど処理

に時間がかかる食材をそのまま届け、食材の使い方やあく抜きなどの仕方が分かる説明書きも添えました。特に故郷に帰られなかった都会の人たちに喜んでもらえました。料理の写真を送ってくれたり、SNSで投稿してくれたり、反応が楽しみになっていました。心が通ったやりとりができて、うれしかったです。

東京に住む友人たちから大変な状況を聞き、里山で暮らすことの豊かさを改めて実感しました。町に出ることは減ったけれど、コロナ禍の中でも困ることはあまりなかったです。外に出ても密にならないし、いつも通り山で作業もしました。すぐ近くで山菜採りや野菜の収穫もできて、本当に恵まれていると思います。最初は意図していなかったけれど、「おすそわけBOX」には田舎の豊かさが詰まっています。石畳地区の宣伝にもなるし、都会の人たちへのメッセージにもなったかもしれません。山菜が終わり、今度は夏野菜の収穫が始まりました。新鮮な旬の素材と里山の幸せを、できる限りお裾分けし続けたいです。



夫の一彦さんと仲良く野菜を育てている畑で



無農薬野菜だから木酢液で虫よけ



山の幸が詰まった「里山の恵みおすそわけBOX」



山菜の王様「タラの芽」は絶品



谷岡さん(左)とは「みそぎの里」で出会い、意気投合した



精米前の「みそぎ米」。適度な緑がうまみの証し



HIMARINOチョイス旬野菜セット



HIMARINOの瓶詰とみそぎ米(お試し3合)



③ みやせスポーツ・みやせ商店街のホットステーション

スポーツ用品と仏壇が並ぶ店内は、きっと全国でも珍しい。だから子どもから高齢者まで、みんなが立ち寄ります。スポーツグッズ、熱中症対策用品もいっぱいあるよ。

② 楽農研究所

農業をおしゃれにカッコよく

互いの強みを生かそうと、道後のホテルとコラボして野菜セットを販売。コロナの影響で大変だった農家を支えています。いろんな加工品もプロデュースしています。



① 沖野月美堂

町並みの入り口の和菓子屋

栗入りむし羊かんや栗入りしぐれなどの土産品の他、柏餅や大判焼、かき氷などの地元の人に喜んでもらえる商品を提供しています。おばあちゃんの着物で作ったのれんがかわいい。



——すね松応援隊と歩く内子本町商店街——

ステイウチコを楽しもう

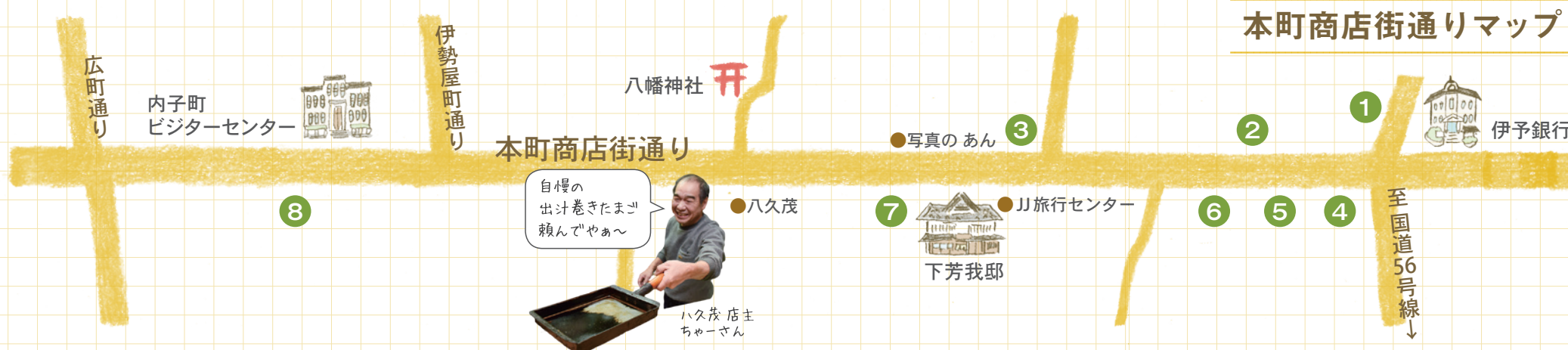
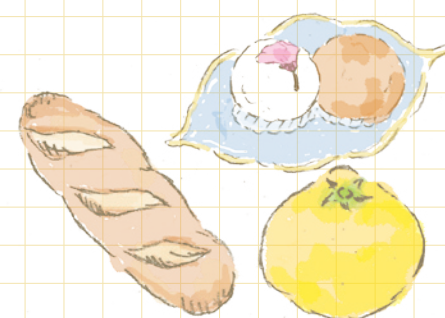
県外へ旅行に行けなくても、町内にも面白いところがたくさんあります。なんとって内子町は県下有数の観光地だから——。商店街を知り尽くす「うちこ小売店すね松応援隊」が見どころをご案内します。

うちこ小売店すね松応援隊

左上：有本利雄さん、右上：入沢美紀さん
左下：森岡正樹さん、右下：宮瀬信治さん



◀「うちこ小売店すね松応援隊」のフェイスブックページはこちらから。



商店街の良さが伝わってすね松がいなくなればいい

応援隊長 有本 利雄さん

飲食店に比べ小売店の明るい話題が少ないので、すねている仲間を笑顔にしたいと、「うちこ小売店すね松応援隊」を作りました。先は長くなるかもしれないので、力を抜いてじっくり活動したいです。

五十崎や小田にもすてきな店がたくさんあります。県外などへの旅行はまだまだ難しいそうなので、近くの商店街を訪れて、その良さを再認識してもらったら、うれしいです。

全部の店は紹介できませんが、ページが許す限りご案内します。皆さんも実際に歩いて、面白いものを見つけたら「すね松」のフェイスブックに投稿してみてください。



⑧ ベーカリーえーもん 焼きたてパンのいい香り

やわらかくてお年寄りでも食べやすいパンを作っています。毎日食べても飽きない味。種類もいっぱいあります。まだ店を知らない人もいますので、ぜひ一度足を運んでみて。

⑦ りぼん

おもちゃをお探しならここ！

巣ごもりが続いて人生ゲームやニンテンドースイッチは在庫がなくなっているようですが、たくさんのおもちゃがズラリと並んでいます。お家時間にガンダムのプラモデル作りもいいかも。都会に住むお孫さんなどへの贈り物が多かったそうです。喜ぶ顔を早く見たいですね。



⑥ 宮栄

昔ながらの素朴なおいしさ

余分なものを抜いて、手は抜かない「我が子菓子」。緊急事態宣言で、注文が急に止まり在庫を抱えている、という訳あり商品です。今だけのお買い得品なので、ぜひ食べてみてください。

⑤ 坂見輝月堂

和菓子職人が作る洋菓子が大人気！

観光客が少ないので、栗饅頭以外の商品が増えています。洋菓子も得意な店主が作るシュークリームは即完売。ケーキやカステラもあるので、ちょくちょく足を運んでほしい。いつ提供されるかは「うちこ小売店すね松応援隊」のフェイスブックをチェックしてみてください。夏には水まんじゅうや、わらび餅も提供したいとのこと。楽しみです。



④ 本川時計メガネ店

ハズキルーペ踏んでみる？

眼鏡や時計の修理、ちょっとした困りごとなど、なんでも気軽に相談ください。若い頃にバックパッカーをしていたので、英語が得意。英語で相談もできますよ。あとハズキルーペあります。



⑬ 米田酒店

内子の地酒が勢ぞろい

地元の酒蔵、酒六と千代の亀のおいしい酒がたくさんあります。日本酒を飲んで酒蔵や酒店を応援してほしいとのこと。夏は大人気の酒粕のかき氷も。早く食べたいです。

⑫ このは 金の羽

心もほぐす、ふわふわシフォン

珍しいバターシフォンチーズが一押し。しっとり、ふわふわでチーズの香りが口に広がって——ぜひ一度食べてほしい。かわいいラッピングが無料なので、贈り物にもいいですね。



⑪ フローリストやまおか

おうち時間に、お花で癒しを

花があれば気分は安らか。男性の皆さんは感謝の気持ちを伝えるのは恥ずかしいかもしれませんが、こんなときだからこそ、奥さんに感謝の気持ちと花を贈ってみませんか。

⑩ 武田商店

一歩入ると ショーワな世界

昔ながらの商品が多く、掘り出し物があるかも。非売品だけど、昔懐かしい看板も飾ってあるよ。店主は習字が上手で、のし袋の名前を書いてくれる秘密のサービスもあるらしい。



⑨ イケダ食品

変わらずぽつぽつやりよります

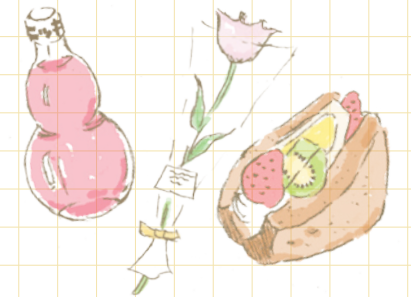
看板猫のみどりちゃんが「かわいい」と大人気。めちゃくちゃ元気でチャームिंगなおばあちゃんもすてき。猫とおばあちゃんの最強コンビに癒されてください。



＼ 続き ／

ステイウチコを すね松と楽しむ

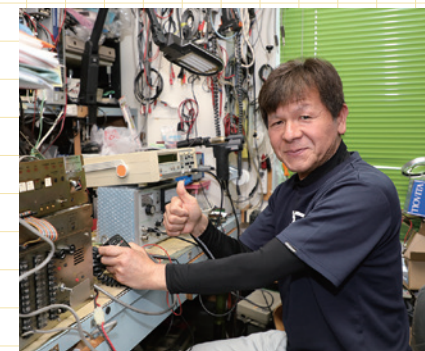
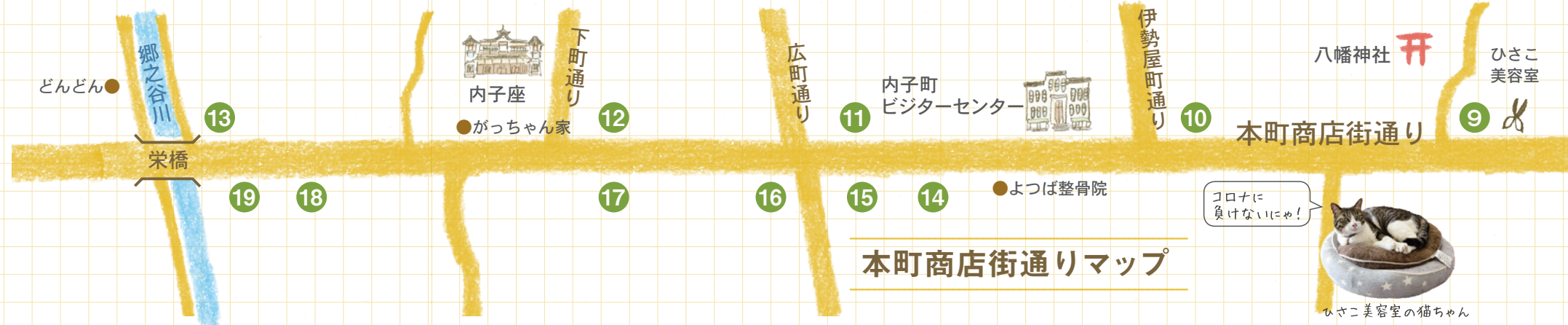
まだまだ紹介したいところがいっぱいあります。マップは7ページと一部重複しています。



⑭ 大和屋 クリーニング店

ガラス越しの作業にうっとり

2日後には渡せる速さが売り。こちらが要望する時間に应运えてくれるのは、地元商店街ならではの良さですね。気付いたら染み抜きもしてくれて、丁寧な仕事がすごいです。



⑮ 宮内無線

困ったら気軽に相談

ただの電気屋ではありません。配線、音響、修理など、家電の困りごとはだいたい解決できます。小さなことでもいいので、なんでもご相談ください。

⑯ 松乃屋 (リンパサロン) ひなたぼっこ

女性限定で癒しの時間を提供

宿泊者向けにしていたリンパセラピーを、地元の人でも利用できるようにしました。効果の高い「深リンパケア」で老廃物を体の外にしっかりと出すので、美容はもちろん、肩こりや便秘などさまざまな体調不良の改善につながります。サービスの岩盤浴もあるので、心も体もリラックスできますよ。免疫力も上がるので、皆さんの体の中からコロナ対策しましょう。

【補足情報】

利用時間：午前10時～午後8時30分
料金：60分7,000円～(完全予約制)
※初回は2,000円割引。右の写真のお客さんは撮影用に衣服を付けています。



⑰ 森並薬品

ナニコレな店内がかわいい

漢方薬が並ぶ店内は、初めて入るとびっくり。店主が優しく漢方薬の相談を受けてくれるよ。栄養ドリンクを購入したら、ニンニクエキスが入ったカプセルのサービスも！

⑱ 岡田酒店

ふるーい梅酒は飲めるのかな？

奥さんは果実酒づくりの名人。昔は雑誌で紹介されたことも——。お願いしたら昔作った果実酒を見せてくれるよ。店主のおすすめは、ここにしかない「ハナタレ焼酎」とのこと。



HAIRSTAGE ⑭ IMAMIYA&Birth

対策万全。安心してヘアカット

完全予約制でコロナ対策中。一人ずつカットするので(親子なら一緒でもOK)、安心してくつろげます。二人目対応のお母さんは、役割が少なくなつて、すね松になっていますけど(笑)。

コロナに 負けない 強い思い

諦めなければ負けじゃない。
みんなで応援し合って、
前へ進んだ大切な一歩——

新型コロナウイルスの影響で大変な思いをした皆さんの声を、たくさん聞きました。飲食店や小売店、観光業や農家、学校に通えない子どもたちやその保護者の皆さんなど——。見えないウイルスの怖さや先の見えない経済への不安の声です。でも多くの皆さんが、こんな状況の中でも前を見据え、今できることに精いっぱい取り組んでいます。

「こんなときこそ、元気で笑っていたい」「町の人たちのつながりの温かさに励まされる」。取材に込めてくれた皆さんの言葉に、改めて内子町の人の素晴らしさを感じました。行政も町独自の支援や相談窓口の強化、昼食のテイクアウトの利用、職員一人一人への協力依頼など、できる限りのことをして、一緒にこの苦難を乗り越えたいと考えてます。

特集の最後に、3密回避でコロナ対策をしながらも、ココロは密にして、強い心で前に進む皆さんをご紹介します。新しい生活様式の中で、新しく自分らしい行動を起こすヒントになれば幸いです。



地域おこし協力隊
岡山 紘明さん=小田下=

ピンチの後にチャンスあり
内子町を選ばれる移住先に

コロナ禍で東京一極集中の危うさが分かりました。一方でオンライン会議やインターネット上での仕事が加速し、場所を選ばない働き方が広がりました。混乱の中で、都会より田舎で暮らすことに注目が集まっています。これからは田舎に住みながら仕事をして、時々都会に行く「2 拠点居住」が増えるかもしれません。

内子町は町並みや村並みの保存を長年続け、田舎の中でも一流の景観と暮らしがあります。都会の人にとっての憧れで、移住先を選択する上でも魅力的な町です。大きな課題は、移住したくても住む場所が探せないこと。仕事は自分で探せる人たちが多いですが、住める家は少ないのが現状です。内子町の空き家バンクで探せる物件は、3 件しかありません。町のよさと、人と人とのつながりの温かさが魅力の内子町。あと住む家があれば、移住先に選ばれる居心地のいい田舎になれると思います。

現在、内子町の仕事や不動産情報、湧き水スポットなど困りごとや地元の人でしか知り得ない情報を共有し、暮らしをより便利で楽しくするグループ作りに取り組んでいます。地元の人たちの情報力で暮らしやすい町にできたらと思います。



内子高校小田分校魅力化推進室長
今居 弘幸さん=松山市=

生徒たちの笑顔が見たい——
先生の思いが生む新たな挑戦

5 月 25 日に通常授業が再開しましたが、体育と昼食の時間以外はマスク着用の学校生活です。弁当は対面では食べないで、話も極力してはいけません。先生もフェイスシールドを付けるなど、通常の授業とは違う感じです。

生徒たちに思い切り笑って話してほしいと考え、講師と学校、生徒同士をオンライン上でつなぐ特別な授業を行いました。ほぼ全ての生徒が、自宅から参加する初めての試みです。昨年、内子町役場の室岡康平さんの授業が生徒たちに好評で、今年も学んでほしかったのですが、このような状況で、まったく同じようには難しい——。ならば今だからできることに挑戦しようと、リモートの授業にしました。家だから私服で参加するのも大丈夫、もちろんマスクも要りません。家族やペットも登場し、みんな楽しそうに授業に参加していました。私も久々に生徒たちの笑顔を見られました。

コロナの影響で多くの行事などが中止になった今年度。生徒たちのためにも、「何もできなかった」で終わらせたくありません。今後も小田分校が力を入れる「起業家教育プログラム」をオンライン上で行うなど、今だからこそできる特別な経験をさせてあげたいと思います。



松乃屋旅館女将
高田 智子さん=内子2=(右、陽子さん)

ここで宿を続けてよかった
地域の温かさに改めて感謝

5 月末まで宿泊を止めました。最初は不要物の処分とか、普段できないことをしましたが、すぐにやり尽くしました。その後、ロビーの灯りやボイラーを消し、何もしない状態が1 週間も続きます。しばらくしたら収束すると期待しましたが、事態はひどくなる一方。旅館では難しいと躊躇していたテイクアウトも、テイクアウト部の人たちの励ましに後押しされ、挑戦することになりました。

松乃屋旅館は約160 年間、観光客を迎える宿だったので、少し敷居が高い感じだったと思いますが、テイクアウトを始めて多くの皆さんが足を運んでくれるようになりました。中には気兼ねなく電話してくれる近くのおばあちゃんも——。料理を運ぶと「助からい」と言ってくれて、こちらが元気をもらっています。人とのつながりの温かさを実感して、感謝の気持ちでいっぱいです。

新しい生活様式に沿った宿泊では、松乃屋の売りの一つである「おもてなしの心」を表すことが難しそうです。でも、何もなければ、皆さんとのすてきなつながりが生まれなかったように、諦めなければ、いい方法が見つかると思っています。まだまだ先は見えませんが、皆さんとのつながりを大切にしながら、今できることを頑張ります。

